

# 令和6年度 第1回用瀬地域振興会議 議事概要

## 【開催日時】

令和6年5月10日（金）午後2時00分～3時45分

## 【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

## 【参加者】

出席委員 西川功美、西尾とよ子、辛川宗雄、山下和彦、前田勝美、平木美千子、平井育子  
入江真知子、福山裕正、西村勝、深沢あゆみ(R6.4.1～新委員)  
以上11名（敬称略）

事務局 太田用瀬町総合支所長、岡本副支所長、堀場市民福祉課長、浜部産業建設課長  
遠藤地域振興課課長補佐

傍聴者 1名

## 【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ  
支所長あいさつ
- 3 議題・報告事項等
  - (1) 旧大村保育園の利活用について
  - (2) 地域の課題等について
  - (3) 令和6年度用瀬町総合支所管内の主な事業
  - (4) 地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について
  - (5) 令和6年度地域振興会議開催スケジュール
  - (6) その他
- 4 各課事務連絡等
- 5 閉会

## 3 議題・報告事項等

### (1) 旧大村保育園の利活用について

資料1により、内容について説明

#### (事務局)

現在未利用となっている旧大村保育園について、「鳥取市未利用財産の利活用についての方針」に基づき、立地条件や建物の状況などを勘案し検討を行い、建物付きでの売却に向かうこととします。なお、売却の条件として公序良俗に配慮すると共に購入者による周辺環境の悪化を防ぐため、買戻し特約を付けるなどの対策を講じます。

#### (委員)

耐震は十分か。

**(事務局)**

新耐震基準で建てられており、担当課で確認したところ、老朽化はみられるものの、使用は可能との判断をしています。

**(委員)**

建築から40年も経つと上下水道設備など老朽化してくると思うが、修繕して売却するのか。

**(事務局)**

建物も含め、基本的には現状での売却になります。

**(委員)**

20年以上前、下水管に立木の根が入って排水できなくなったことがある。不具合のある箇所など、どの程度開示して売却するのか。

**(事務局)**

業者など購入希望者が現地確認をし、そういったことも含めて入札に参加していただきます。内覧の希望があれば入札までにご覧いただく機会があります。

**(委員)**

最低価格の試算額はどれくらいか。

**(事務局)**

今後、不動産鑑定により最終的な販売予定価格を決定していくこととしていますので現時点では不明です。

## **(2) 地域の課題等について**

資料2により、内容について説明。

### **【安全安心なまちづくりの推進について】**

**(委員)**

トスク用瀬店跡地に街灯がなく夜間は真っ暗になるため、防犯灯など取り付けて欲しい。

**(委員)**

八頭町のトスク丹比店跡地には、生鮮食品も扱うコンビニが出来た。用瀬店が閉店してから7カ月以上経ったが、いろんな面で折り合わないのか後継のスーパーが決まらない。丹比と同じように、コンビニに入ってもらえる方法もあるのでは。買い物環境を確保して欲しい。

**(委員)**

防災に関することは大きな課題だが、地域の中で意識がまだまだ低いと感じる。大きな地震があっても時が経つと気持ちは薄れていく。身近な「自主防災組織」の活動の中で防災意識を少しでも高めることができたらと思う。

**(委員)**

防災知識を高めるための訓練内容で、防災食を作ってみるなど、食べる物を取り入れるとより興味がわく。簡単に作ることができ、地域には必ずノウハウを持った日赤奉仕団員や食育推進員もいるので、ぜひ活用して防災活動を広めて欲しい。

(委員)

自治会に入っていない世帯の情報伝達方法などの防災問題がある。自治会の加入について働きかけていただきたい。

## 【魅力ある地域づくりの推進について】

(委員)

県外から来た大学生から見ると、用瀬の眠っている資源は、ありのままの物だけでもすごい魅力的に見える。街中を歩いている「こんにちは」と言ったら「こんにちは」と皆さん返してくれるが、都会ではありえないこと。それを体感するだけでもすごい満足感がある。地域の方との交流で得られる人との繋がりを、観光とは違う側面で都会の子たちはすごく欲している。地域の納涼祭がすごく楽しかったとか、景色がすごく綺麗だったと大満足して帰っていく。普通の観光というところを押し出していくのは、用瀬の持っているリソースだと、多分力不足になってしまう面もあると思うので、人との関わりや、その地域にある資源を「いいな」と思ってくれる子たちに突き刺さっていくようなアプローチをかけていくのが良いと思う。

(委員)

地域おこし協力隊のところで空き家対策について触れられているが、私自身も空き家を方リノベーションしたところに住んでいる。用瀬を訪ずれた大学生などが「住んでみたいな」と思っても住める場所がないというのが実態としてある。

例えば空き家があったとしても、リノベーションに費用や時間がかかり、すぐに住める場所が無いというのも人口増加のネックになると思う。用瀬町としてこの先どう空き家を整えていくのか。

(事務局)

空き家対策はまだ手探りの状態です。視察などもして行く中で、どうしても行政だけでは難しいと感じています。一時的に人を雇っても任期が切れたらどうするのかという課題もあります。やはり官と民が一緒になって進めていくことで継続できると思うので、そういった仕組みづくりも含めて、今後検討していく必要があります。

もし何か「こういったことも手伝える」とか「こういったことをしてみたら」というようなことがあれば、ぜひ参考にさせていただきたい。

(委員)

用瀬町の人口は、3,300か400あったが、急に3,100人ぐらいまで落ちてきている。3,000人を切るのは時間の問題。なかなか厳しい状況があるので、本当に一生懸命真剣に考えていかないと、すぐに人口減少に繋がっていくと思う。

(委員)

流しびなの館は、以前は観光バスがかなり来ていたが、今かなり少なくなっている。何かしら大々的な企画展示とか、多くの皆さんにおいでいただくような取り組みは無理でしょうか。広報誌に他の観光施設のイベントは載っているが、流しびなの館のイベントが全然載らない。

今どきの修学旅行は、昔のように有名な建築物などを見て回る行程ではなく、完全にイベント参加型になっている。集客のためには参加型の体験をしてもらうであるとか、展示の工夫をしてローテーションも早めに変えていくようなことをやっていかないとお客さんは来ないと思う。

(委員)

境港の水木しげるロードも集客が落ちていたが、リニューアルをして、このゴールデンウィークにはまた少し回復したというニュースがあった。やはり絶えず手を入れないと、1回来

たらそれで良いでは人は呼び込めないと思う。

**(委員)**

去年視察に行った、高梁市では、空き家活用のためのD I Yや修繕への手厚い助成金があった。昔ながらの家には何かしら手を入れないと住めないと思う。最低水回りとお風呂とトイレはきちんとしてないと嫌だと思うので、何とかできないかと思う。

また、空き家を持っているけど、どう活用したら良いか分からず、更地にして売るしかないのかなと言っている人もいる。やはり利活用するためには、こちらの方がいろんな情報を発信して、こういう方法だったら使わせていただくことができるなど、利活用できる体制作りが必要だと思う。

**(委員)**

観光資源としての流しびなについて、さん儀を作る過程のどこかに携わると本番のイベントに来てくれる確率が高くなると思う。大学のプログラムで来た学生に、その時々で手伝いに行ってもらうなどしている。担い手の方々も高齢になっていることもあると思うので、作り手を、例えば用瀬町全域もしくは鳥取市全域の方にも門戸を広げてみるなど外からの人を招くことをしてもいいのでは。

**(委員)**

流しびなの国の記録選択決定を受けた調査が、なかなか進んでいない現状がある。もっと積極的に取り組む必要がある。支所、保存会、それから地域振興会議としても強力に、市へアクションを起こしていかないと前に進まないと思う。

**(事務局)**

支所だけでなくいろんな方々の応援をいただくことでさらに協力的に取り組むことができますので、よろしくお願いします。

**(3) 令和6年度用瀬町総合支所管内の主な事業**

資料3により、内容について説明

**(委員)**

野生鳥獣防止被害防止事業費について。用瀬町で鹿とかイノシシを捕らえた時には溶融炉に持って行くか自分で解体するしかない。八頭町や智頭町には解体できる事業所があり、そこに持ち込める。用瀬町にもそういう施設ができないか。

**(事務局)**

解体施設をつくるには、審査や多額の事業費が必要となります。生肉は引き取り手、販売のルートなどが無いと難しいとも聞いていますし、申請・管理は誰がするのかなどいろいろ課題もあると思います。施設の建設については確認しておきます。

**(委員)**

用瀬駅舎のトイレにある洗面台が壊れている。駅は町の顔でもあり印象が良くないので、なんとかならないか。

**(事務局)**

予算の関係でまだ対応できていませんが、とり急ぎ撤去だけでもできないかと、今要求しているところです。

#### **(4) 地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について**

内容についてあらためて説明。

まだ検討が進められている段階であるため、6月の地域振興会議で再度方針案の説明をさせていただき、ご意見を集約した上で承認いただきたいと思います。

##### **(委員)**

委員の性別について、男性ばかりなど偏りが無いようにすべき。

##### **(事務局)**

市として審議会等における女性委員の登用率を40パーセント以上とすることを目標として掲げていますので、それに準ずると思います。

##### **(委員)**

もっと世代の若い委員も入れるべき。世代が変われば目線も変わり、新たな視点での意見が出てくると思う。

#### **(5) 令和6年度地域振興会議開催スケジュール**

資料5により、内容について説明

年8回実施予定。1回は南ブロック（河原・佐治・用瀬）会議を開催。

#### **4 各課事務連絡等**

##### **(事務局)**

特にありません。

#### **5 その他**

次回日程について ⇒ 令和6年6月27日（木）午後2時から開催。

#### **6 閉 会**